



東郷小学校だより

令和8年度 6号 (通 356号)

令和8年10月10日

文責：高畠 拓嗣



ホームページでは、「学校だより」の他に「学校日誌」の中で子どもたちの活動の様子を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

「対話」と「ファシリテーション」で育む、未来を創る力

通勤途中に赤く色づくリンゴの実を見て、秋の深まりを感じました。2学期がスタートして1ヶ月が過ぎましたが、子どもたちは毎日、元気に学習に取り組んでいます。

先日、5年生が、1泊2日の宿泊体験学習を行いました。自然の中で様々な体験を通して成長することができた2日間になりました。

1日目の夜のことです。ボーンファイアー(焚火)を囲んで、1日の振り返りを対話形式で行いました。活動の反省だけでなく、友だちの良いところや学んだことを今後の生活にどう生かしていくかななどを語り合っていました。対話によりクラスの絆を深めている姿を見て、心が温かくなりました。



全員で自然の冒険に挑戦し崖下りをクリア！
無事ゴールすることができました。

4月に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況等調査」の結果が公表されました。本校では、国語・算数ともにすべての領域で、全国および山形県の平均正答率を大きく上回る結果でしたが、「自分の考えをわかりやすく相手に伝える力」が課題となっております。

そこで、日々の授業の中に、「ファシリテーション技術」の習得と活用を意図的に取り入れています。ただ話し合うだけでなく、子どもたち自身が進行役(ファシリテーター)の視点を持ち、「自分の考えを端的にまとめて伝える力」だけでなく「相手の思いや意見を上手に引き出す聞く力」を育てる取組です。この質の高い対話を通して、子どもたち同士が互いの良さを認め合いながら、課題を解決する過程の中で「分からなかったことが分かるようになる楽しさ」を実感する授業をめざします。第5号で、「2学期、最も大切にすることは、毎日の授業」とお伝えしましたが、授業で対話をしながら学び合い、課題を解決していく資質・能力＝未来を創る力を育成していきます。

児童の活躍

東根市アイデア工作展

優秀賞 5年 菅野 凜佳さん 奨励賞 6年 東海林 旭さん

山形県小学生陸上競技交流大会

第2位 女子80mハードル走 椎名さくらさん 記録 15秒7

「東郷の宝」である子どもたちに、「未来を創る力」を育むため、我々教職員一丸となって指導の充実に努めてまいります。

「学びの東源郷」である東郷地区の皆様には、引き続き温かい眼差しで見守ってくださいますようお願いいたします。